

令和2年度 (2020年度) 介護サービス事業所 事故報告集計結果

介護サービス事業所から令和2年度に函館市に報告があった事故報告書を集計しました。

【訪問系サービス】

居宅介護支援, 介護予防支援, 訪問介護(総合事業を含む),
(介護予防)訪問入浴介護, (介護予防)訪問看護,
(介護予防)訪問リハビリテーション,
(介護予防)福祉用具貸与・特定福祉用具販売,
夜間訪問型訪問介護, 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

【通所系サービス】

通所介護(総合事業含む), 地域密着型通所介護(総合事業含む),
(介護予防)認知症対応型通所介護

【入所系サービス】

(介護予防)特定施設入居者生活介護,
(介護予防)認知症対応型共同生活介護, 介護老人福祉施設,
介護老人保健施設, 地域密着型特定施設入居者生活介護,
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護,
介護療養型医療施設, 介護医療院

【多機能型サービス】

小規模多機能型居宅介護, 看護小規模多機能型居宅介護

函館市保健福祉部指導監査課

令和2年度の事故報告について

令和2年度の事故報告件数は、前年度の729件から175件減（約24%減）の554件、事業所数は176事業所から38事業所減（約21%減）の138事業所となりました。

函館市では、介護保険施設等指導方針において、事故の防止を重点事項に位置づけ、実地指導や集団指導等により事故に関する記録の重要性と市への報告の徹底を指導しております。

事故報告は、事業所の責任を追及するために提出を求めているものではありません。事故を記録し、その発生原因を分析することにより、再発の防止に生かすことが目的です。事故報告書の作成を負担に感じるかもしれませんが、事故を少しでも減らすことができるように、今後も適切な記録と報告に努めてください。

令和2年度の事故の内容としては、骨折が最も多く248件で全体の44.8%、次いで誤薬（38.1%）、裂傷・擦傷（5.6%）の順で、これらで全体の9割近くを占めています。

事故内容毎の発生場所をみると、最も件数が多い骨折は、居室等で多く発生しており、これはプライベート空間で利用者が一人の状態転倒等することにより起きていることから、介護体制面だけでなく、利用者の身体能力の適切な評価や、機能訓練の実施等の取組が重要になると思われます。

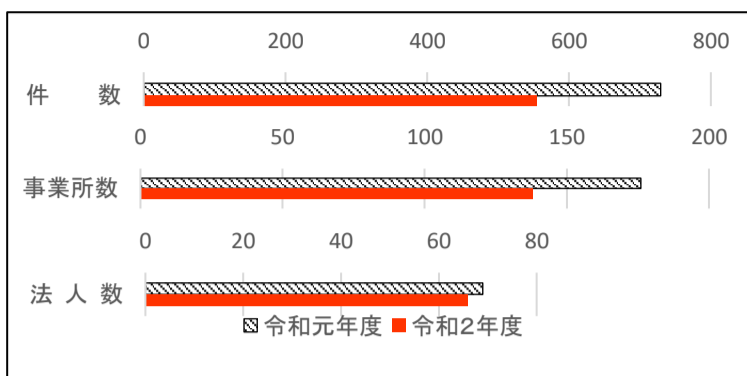
一方、次に多い誤薬は、フロアや食堂など、介護職員等が関わる場面で多く発生しており、主に介護体制面からの防止の取組が必要になると思われます。

各事業所において、事故が起きてしまった場合には、その原因をしっかりと分析し、再発防止に取り組むようにしてください。

【令和2年度 介護サービス事業 事故報告集計】

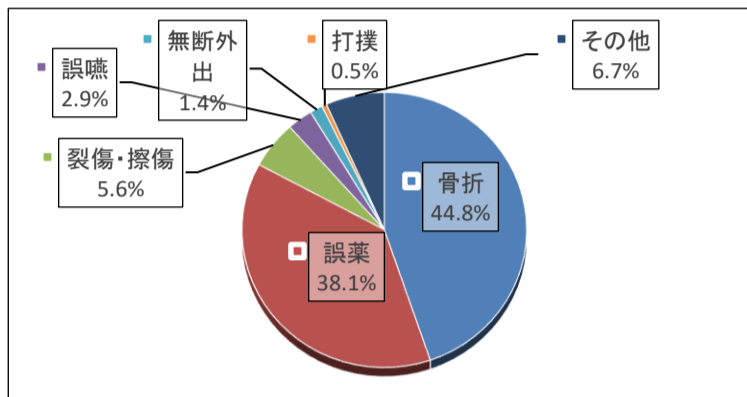
●件数

区分	令和元年度	令和2年度	増減
件数	729	554	△ 175
事業所数	176	138	△ 38
法人数	69	66	△ 3



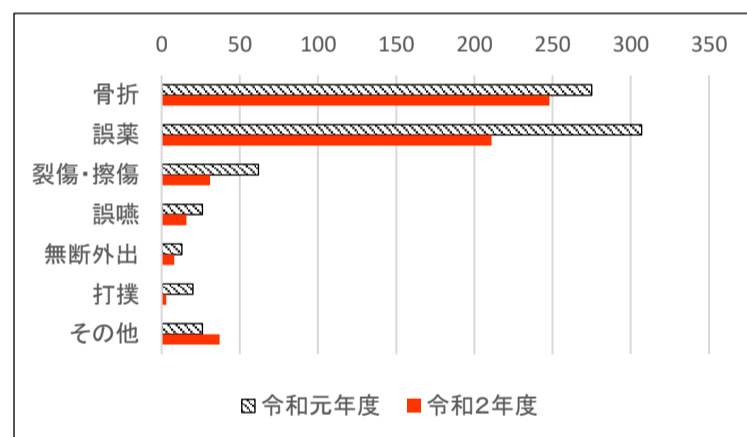
●事故内容

区分	令和2年度	構成比
骨折	248	44.8%
誤薬	211	38.1%
裂傷・擦傷	31	5.6%
誤嚥	16	2.9%
無断外出	8	1.4%
打撲	3	0.5%
その他	37	6.7%
合計	554	100.0%



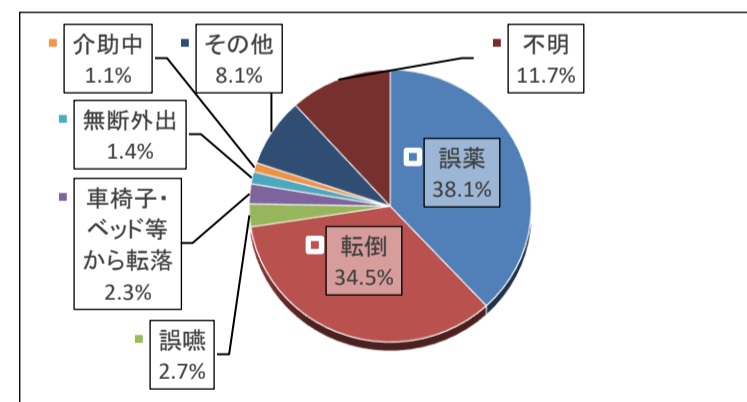
(前年度との比較)

区分	令和元年度	令和2年度	増減
骨折	275	248	△ 27
誤薬	307	211	△ 96
裂傷・擦傷	62	31	△ 31
誤嚥	26	16	△ 10
無断外出	13	8	△ 5
打撲	20	3	△ 17
その他	26	37	▲ 11
合計	729	554	△ 175



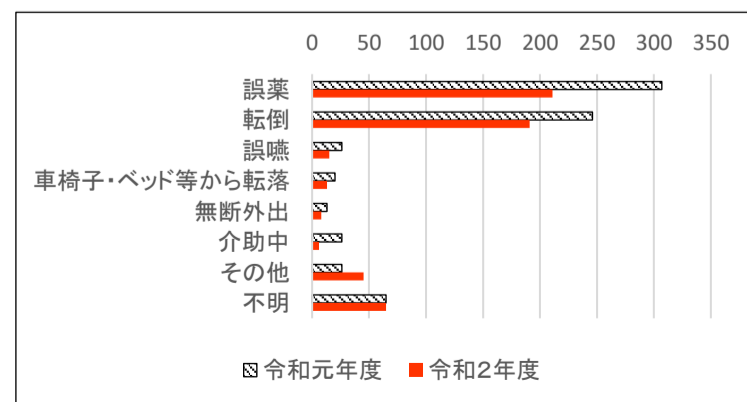
●事故原因

区分	令和2年度	構成比
誤薬	211	38.1%
転倒	191	34.5%
誤嚥	15	2.7%
車椅子・ベッド等から転落	13	2.3%
無断外出	8	1.4%
介助中	6	1.1%
その他	45	8.1%
不明	65	11.7%
合計	554	100.0%



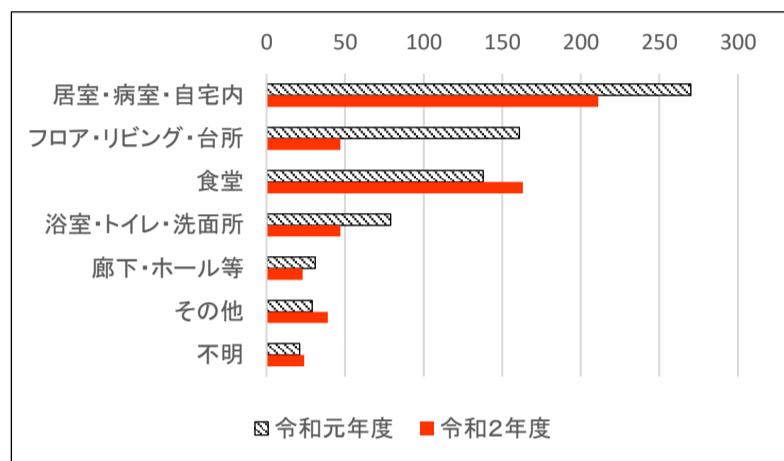
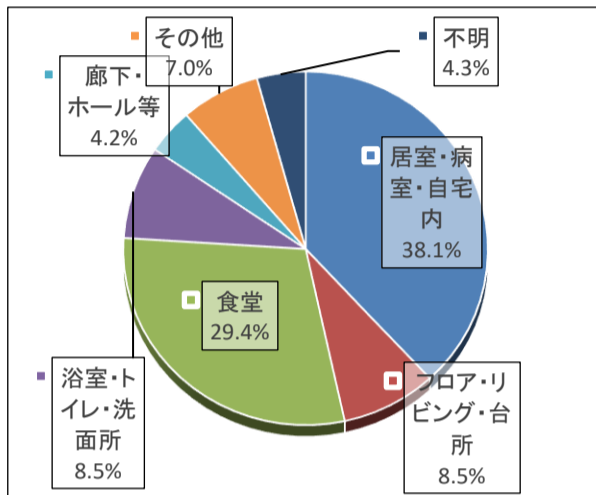
(前年度との比較)

区分	令和元年度	令和2年度	増減
誤薬	307	211	△ 96
転倒	246	191	△ 55
誤嚥	26	15	△ 11
車椅子・ベッド等から転落	20	13	△ 7
無断外出	13	8	△ 5
介助中	26	6	△ 20
その他	26	45	▲ 19
不明	65	65	0
合計	729	554	△ 175



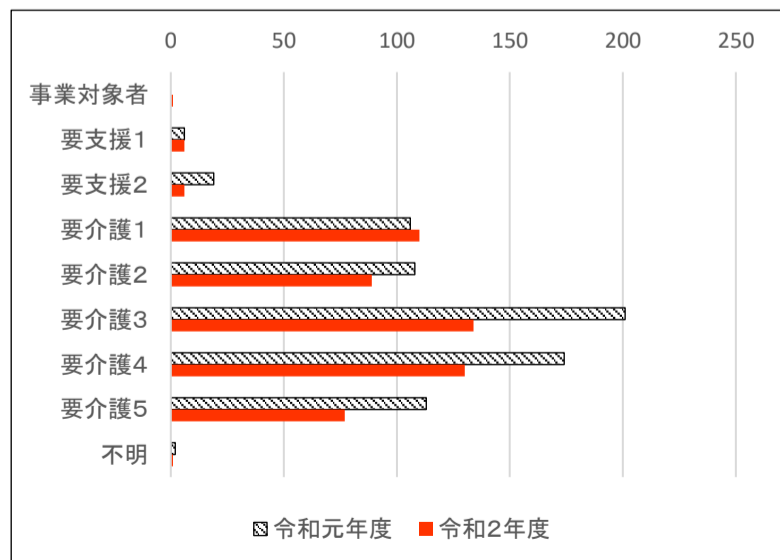
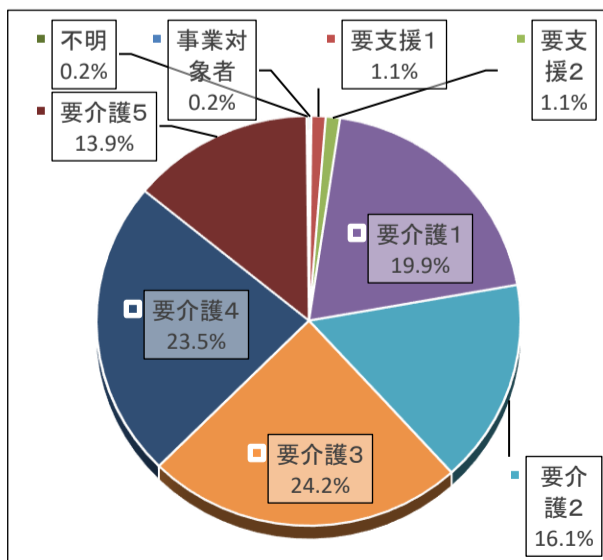
●発生場所

区分	骨折	誤薬	裂傷・擦傷	誤嚥	無断外出	打撲	その他	件数	構成比	令和元年度	増減
居室・病室・自宅内	138	39	17	2	1	1	13	211	38.1%	270	△ 59
フロア・リビング・台所	16	25	3	1	1	0	1	47	8.5%	161	△ 114
食堂	20	116	3	13	1	1	9	163	29.4%	138	25
浴室・トイレ・洗面所	23	11	6	0	1	1	5	47	8.5%	79	△ 32
廊下・ホール等	21	0	2	0	0	0	0	23	4.2%	31	△ 8
その他	7	20	0	0	4	0	8	39	7.0%	29	10
不明	23	0	0	0	0	0	1	24	4.3%	21	3
合計	248	211	31	16	8	3	37	554	100.0%	729	△ 175



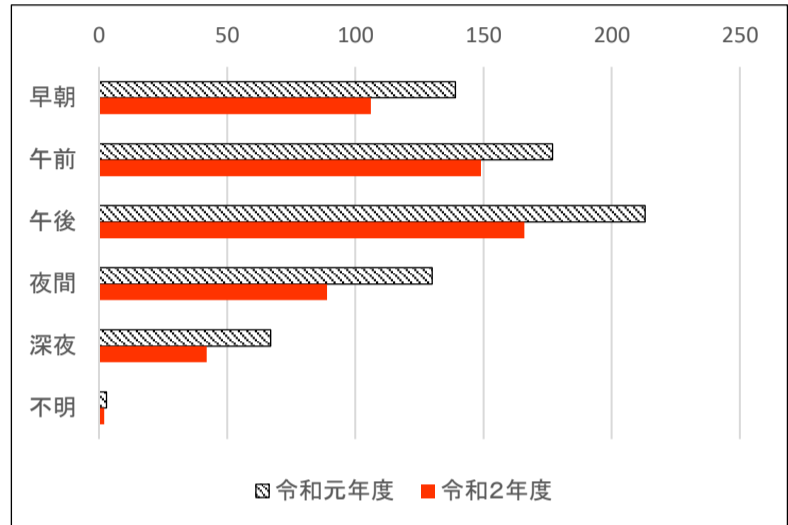
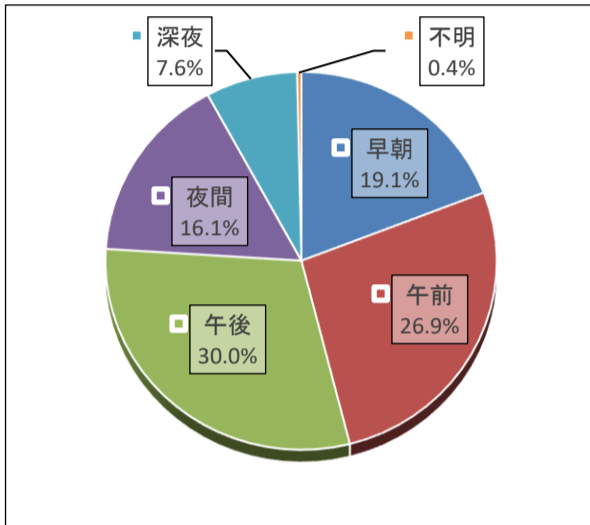
●介護度

区分	骨折	誤薬	裂傷・擦傷	誤嚥	無断外出	打撲	その他	件数	構成比	令和元年度	増減
事業対象者	1	0	0	0	0	0	0	1	0.2%	0	1
要支援1	2	3	0	0	0	1	0	6	1.1%	6	0
要支援2	5	1	0	0	0	0	0	6	1.1%	19	△ 13
要介護1	44	46	7	3	4	0	6	110	19.9%	106	4
要介護2	41	32	5	2	3	0	6	89	16.1%	108	△ 19
要介護3	63	48	8	4	1	1	9	134	24.2%	201	△ 67
要介護4	58	51	9	4	0	0	8	130	23.5%	174	△ 44
要介護5	33	30	2	3	0	1	8	77	13.9%	113	△ 36
不明	1							1	0.2%	2	△ 1
合計	248	211	31	16	8	3	37	554	100.0%	729	△ 175



●発生時間帯

区分	骨折	誤薬	裂傷・擦傷	誤嚥	無断外出	打撲	その他	件数	構成比	令和元年度	増減
早朝(5:00~8:30)	59	36	5	1	0	1	4	106	19.1%	139	△ 33
午前(8:30~12:00)	63	57	8	4	0	1	16	149	26.9%	177	△ 28
午後(12:00~17:30)	54	78	8	7	7	1	11	166	30.0%	213	△ 47
夜間(17:30~22:00)	36	36	7	4	1	0	5	89	16.1%	130	△ 41
深夜(22:00~5:00)	34	4	3	0	0	0	1	42	7.6%	67	△ 25
不明	2	0	0	0	0	0	0	2	0.4%	3	△ 1
合計	248	211	31	16	8	3	37	554	100.0%	729	△ 175



●事業所のサービス種別

区分	骨折	誤薬	裂傷・擦傷	誤嚥	無断外出	打撲	その他	件数	構成比	令和元年度	増減
特定施設入居者生活介護(※)	46	40	12	2	1	1	11	113	20.4%	172	△ 59
介護老人福祉施設(※)	61	44	5	3	0	0	8	121	21.8%	169	△ 48
認知症対応型共同生活介護	53	31	9	0	3	0	3	99	17.9%	129	△ 30
介護老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設	47	30	2	8	0	0	4	91	16.4%	92	△ 1
短期入所サービス(生活介護、療養介護)	20	16	2	0	1	0	5	44	7.9%	72	△ 28
通所系サービス(通所介護(※)、通所リハ、認知デイ)	11	24	1	1	3	0	4	44	7.9%	44	0
訪問系サービス(訪問介護、看護、入浴、定期巡回、居宅)	4	22	0	0	0	1	1	28	5.1%	33	△ 5
多機能型サービス((看護)小規模多機能型居宅介護)	6	4	0	2	0	1	1	14	2.5%	18	△ 4
合計	248	211	31	16	8	3	37	554	100.0%	729	△ 175

※地域密着型サービスを含む

